

日立グループ内外でのIoT支援実績をベースに、IoTビジネス検討をサポート

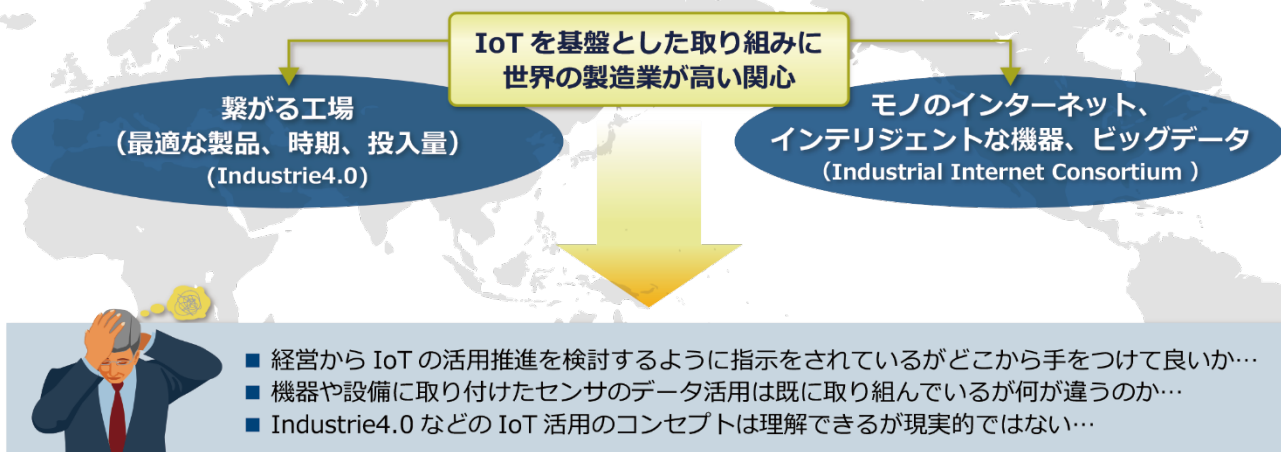
IoTビジネス構想策定コンサルティング —構想策定支援—

IoTビジネス具体化に向けた導入計画策定

今後、世界的に取り組みが進むと想定される、IoT (Internet of Things) ビジネスに関して実業ノウハウをベースに具体化をサポート

IoTビジネスを取り巻く環境

近年、Industrie4.0 やIndustrial Internet Consortium (IIC) 等の活動で、IoT (Internet of Things) が製造業を中心に注目され、**多様なセンシング技術で収集・蓄積したデータをAIなどの分析技術を用いて**ビジネスに活用する取組を検討する企業が増えています。日立コンサルティングは、日立グループ内外での実績をベースに、貴社IoTビジネスを強力にサポートします。



IoTデータの活用サイクル

データ収集	蓄積	分析	活用
多様なセンサの技術革新や小型化・低価格による普及でIoTデータの活用機会は増大。 センサ技術の進歩 ドローン活用	IoT/M2M情報の収集・蓄積と、特定業界向けの業務システム提供は、多くの企業が参入。 標準化 / 企業アライアンス IoT/M2Mクラウド	分析技術を活用し、IoTデータの利用率は拡大。 AI・機械学習 予兆分析	IoTデータの活用を支える技術も進んでおり、実用的な使い方の提案が増加。 ロボット技術 ウェアラブル・AR (拡張現実)

IoT導入テンプレートの特長

シナリオベースでの目標設定

日立グループ内外の事例をベースに「IoT活用シナリオ」をテンプレート化し、経営貢献効果とそのKPIをリスト化。これをたたき台として、効率的な議論が可能。

IoT実現のための構成要素の選定

IoTの活用に必要なセンサー/設備、IT環境・ネットワーク環境、分析技術等の選定基準を整理し、システム環境の要件定義のご支援が可能。

導入の「壁」に基づく現状チェックリスト

IoT活用実現の壁(阻害要因)を整理し、壁ごとに必要な「整備事項」を体系化。この「整備事項」において、どこまで準備できているか調査し、現状把握が可能。

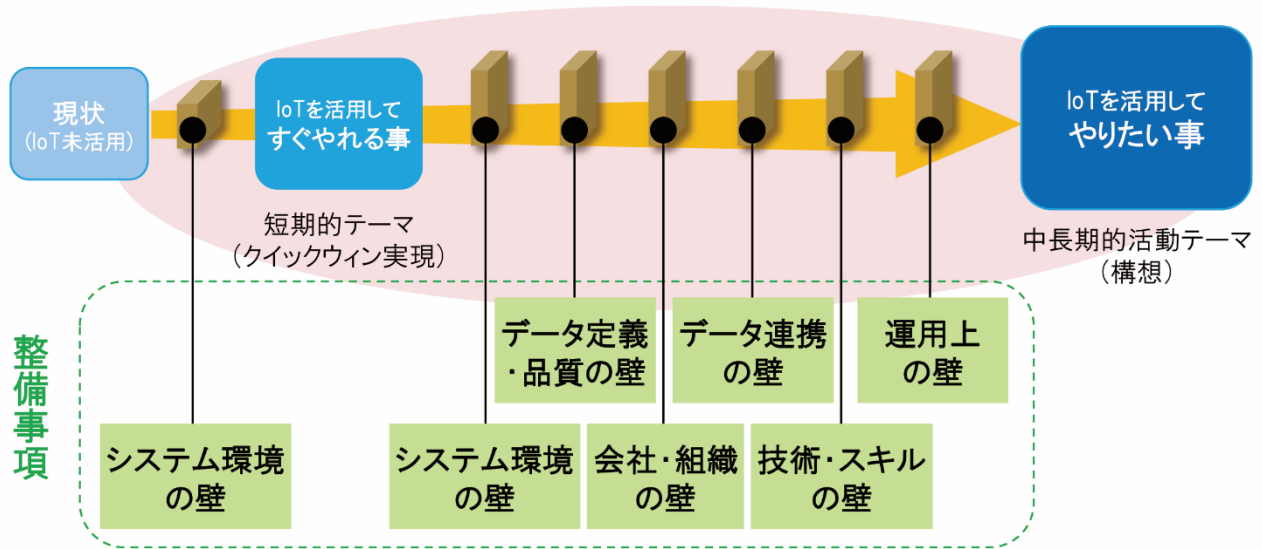
部門横断プロジェクトの豊富な実績

製造業のIoT導入にあたり、生産管理、生産技術、品質保証、設計、販売・サービスの部門とIT部門との役割分担の検討とプロジェクトの推進においてもご支援が可能。

導入計画策定のアプローチ ～IoT導入テンプレートの活用～

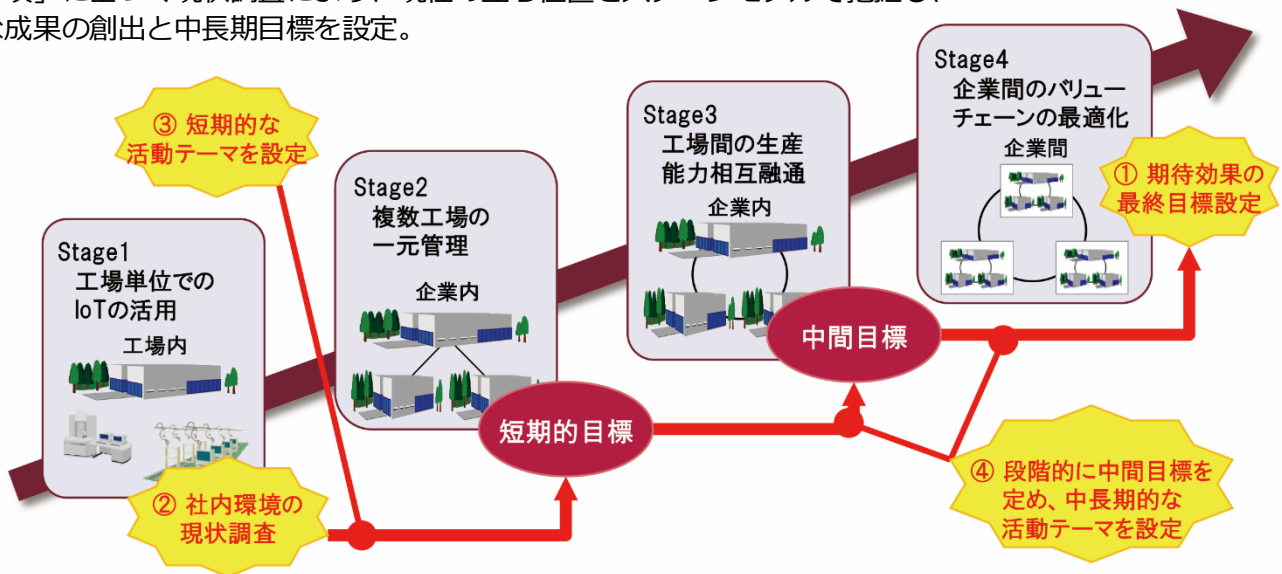
■実現の阻害要因となる6つの壁と整備事項

日立グループ内外における取組・支援事例から学んだ実現の壁（阻害要因）を導入に向けた整備事項として体系化。



■IoT活用ステージモデルに基づく現状分析と目標設定

「整備事項」に基づく現状調査により、現在の立ち位置をステージモデルで把握し、短期的な成果の創出と中長期目標を設定。



- ① 自社にとって価値の高い「IoT活用シナリオ」を選定し、最終的な期待効果の目標を設定
- ② IoT活用の前提となる「整備事項」がどこまで準備できているかの現状を調査し把握
- ③ 現状改善で「すぐやれること」を整理し、短期的な活動テーマを設定
- ④ 最終目標実現に向けて、「中間目標」を置いて、中長期的な環境整備のテーマ設定

●サービスの仕様は、改良のため変更することがあります。ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。●詳細な見積条件などはwebサイトから、または弊社担当営業へお問い合わせください。

◎株式会社 日立コンサルティング

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-4-1 麹町大通りビル11F 電話番号(代表): 03-6779-5500

<https://www.hitachiconsulting.co.jp/>